

会 議 要 旨

(1 / 2)

会議の名称	令和4年度 第3回川越市文化財保存活用地域計画策定協議会
開催日時	令和5年2月13日(月) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時45分 閉会
開催場所	教育委員会室(川越市役所東庁舎2F)
議長(委員長・会長)氏名	座長 落合 義明
出席者(委員)氏名(人数)	副座長 栗原 健一 委員 原 知之、中村 大介、大久根 茂、守山 登、 根岸 督好、阿部 秀樹(観光課長代理)、齊木 隆 (座長・副座長含め9名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委員 内田 幸彦、富田 広之、福釜 周二(3名)
事務局職員職氏名	副課長 天ヶ嶋 岳、副主幹 宮原 一郎 主査 石田千恵子
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度第2回川越市文化財保存活用地域計画策定協議会(11/7開催)について (2) 文化庁との協議について(12/23実施) 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 川越市文化財保存活用地域計画について 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) シンポジウムについて 5 閉会
配布資料	別紙1～3、資料1～7、資料A～D

(2 / 2)

議 事 の 経 過

報 告

① 令和4年度第2回川越市文化財保存活用地域計画策定協議会（11/7開催）について

前回の会議結果について、事務局が改めて説明を行った。

② 文化庁との協議について

令和4年12月に行った文化庁調査官との協議結果について、指摘事項等を含めて事務局より報告した。

議 案

(1) 川越市文化財保存活用地域計画について

① 地域計画の第5章案について、事務局から説明を行った。

5章の将来像については、「歴史が人を結ぶまち 川越」を設定したことを説明した。次に構成を将来像—方向性—課題—方針—措置とし、経緯を説明した。委員からは、課題の抽出が多く、現在の文化財保護課の体制では実行が難しいのではないかとの意見があった。また、重点措置の一部をふるさと納税の対象事業とする工夫があってもとの意見も出た。

② 地域計画の第6章について事務局から説明を行った。

関連文化財群を構成する歴史遺産についての質問や、近年の動向についても対象とするかとの質問があった。

③ 地域計画の第7章について、事務局から説明を行った。

重点地区の設定について、4ヶ所に限定した理由と、重点地区に事前に協力を打診したかについて質問があった。4ヶ所が文化財の数が多いことや、活用を予定されていることと、事前の打診は未調整であることを説明した。委員からは、重点地区が全て台地上なので、低地が入っているとバランスがよいのではとの意見があった。また、考古学的には同じ地域であるところが分かれているので、あまり細かく分けない方がよいとの意見もあった。その他、存続が危ぶまれる民俗行事や団体についても考慮する必要があるとの意見がでた。

その他

① シンポジウムについて ② 講座について

2月23日のシンポジウムと地域計画の特集記事（広報川越2月号）について説明。また、喜多院周辺の住民を対象とした講座について説明した。

以上